

徳島サイクリング延期 学生ら60人ネット交流



台湾の大学生らとのオンラインでの国際交流企画で、親睦を深める愛媛大生—30日夜、松山市文京町

愛媛と台湾の大学連携 コロナ影響

愛媛大と台湾の高雄科技大の学生が自転車を通して連携する「環四国サイクリングプロジェクト」のオンラインでの国際交流企画が30日夜にあり、両大の学生や教職員ら約60人が参加した。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、来夏に延期となった徳島県でのサイクリングに向けて親睦を深めた。

プロジェクトは国際感覚やリーダーシップなどを実践的に学ぼうと、2017年に始まった。18年には瀬戸内しまなみ海道、19年には高知県の四万十川を両大の学生らがサイクリングした。愛媛からも定期的に台湾を訪れている。しかし、今年は新型コロナウイルスの影響で台湾からの訪問が中止。徳島県の鳴門の渦潮などを見に行く予定だったが、来夏に延期した。

そこで30日にオンライン

で交流し、自宅や大学などから参加した。高雄科技大の卒業生は「愛媛大のみんはは優しく、まちや大学での出会いは素晴らしい。また愛媛に行きたい」と話した。続いて10グループに分かれ自己紹介。自分たちのまちや地元の魅力を自転車を通じて動画で表現するコンテンツを、メンバー内で聞くことについて話し合った。撮影した動画は動画投稿サイト「ユーチューブ」に公開し、11月末に表彰する。

プロジェクトのリーダーで愛媛大工学部2年の藤井彩祐美さん(20)は「言葉が通じないときもあったが、笑顔やジェスチャーなどでオンラインでも交流できた。高知出身なので愛媛の魅力を自分自身も知りたいし、伝えていきたい」と手応えを語った。(和田亮)